

平成 29 年 10 月 新庁舎建設に関する団体ヒアリング 概要報告

日時	団体概要
3 日 (火) 11 : 00	(A) 全市的団体
10 日 (火) 19 : 00	(B) 恋ヶ窪地域の団体 (オブザーバーとして恋ヶ窪地域の他団体の参加あり)
12 日 (木) 13 : 00	(C) 全市的団体
17 日 (火) 10 : 00	(D) 全市的団体
19 日 (木) 13 : 00	(E) 全市的団体

会場：市役所

新庁舎建設及び位置に関する意見の概要

■ 新庁舎建設を具体化していくことについて

分散庁舎による利便性の低さや防災面の不安などから、新庁舎建設については全ての団体が賛成であった。

■ 新庁舎の建設場所に求める条件について

団体	主な意見の概要
(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者でも行けるよう公共交通機関（電車・バス）でのアクセスの良さが必要 ・ 現在地は、地理的に不公平感はない ・ ホールを併設する場合、JR 中央線の駅からの立地がホールの収益性につながる
(B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地での建替えに賛成 ・ もし移転の場合でも、跡地が住宅では居住者しかまちに来なくなるため、他から人が来るような施設を整備するなどの活用を庁舎建設と併せて検討すべき ・ 市として他にお金がかかるものが多くあるので、極力費用のかからない方向性をベースにすべき
(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずみプラザを現庁舎に移転し、いずみプラザ跡地とその周辺用地の買収を含めて新庁舎建設の目標とすること
(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設候補地は、客観的には現在地と泉町都有地しかないのではないか。その中で、泉町都有地の方が面積が広く拡張性があり、また、JR 中央線に近く交通利便性も高い ・ 移転する場合、並行して跡地活用の方法を公募するなどしてはどうか

(E)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地で駐車場に新庁舎を建てれば仮設庁舎も要らないので、あまり費用をかけずに建替えられるのではないか ・移転する場合は、周辺地域の人々も生活していけるような跡地活用を多くの市民の意見を聞きながら慎重に検討する必要がある ・バスなどの交通利便性が高い場所が良く、現在地なら西武恋ヶ窪線もあり、ぶんバスもきめ細かに通っている
-----	---

■その他の意見

団体	主な意見の概要
(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎には市外の人々を呼び込めるようなホールを併設してほしい（市内小中学校の合唱コンクール、成人式、オーケストラなどが開催できるもの） ・併設するホールは、収益を出すため、千人以上の規模で、民間活用など黒字化する戦略を持って運営する必要がある
(B)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年の庁舎建設の検討は反対意見が多かったが、強引で跡地活用も財政状況の検討もないなど検討の進め方が問題だった ・庁舎移転の場合の跡地活用では、人が集まる施設として、例えば市内にない総合病院を整備してはどうか
(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・議場に関して、議会が開催されていないことの方が多く、マルチ機能化するなど活用方法を検討すべき
(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・収益が出せるよう千人規模のホールを併設してほしい ・併設するホールは、練習施設などもあれば運用しやすくなる ・ホールだけでなく、史料や絵画の展示などの他の文化施設も併設してはどうか
(E)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意向調査について、3,000人は少なく、無作為抽出ではなく関心のある人が意見を出せる仕組みを採用すべき（市報での調査票全戸配布、ホームページ上でのアンケートなど） ・新庁舎は、市民も使い勝手がよく、障害者が就労できる食堂や、市民が行き交えるような場を設けてほしい ・業務委託の必要性も分かるが、使い勝手のよい新庁舎になるよう、新庁舎建設には市に主体的に取り組んでもらいたい ・豪華な庁舎は要らないので、災害に強い庁舎にしてほしい ・新庁舎だけでなく、市民課サービスコーナーなどのそれぞれの地域の人が行ける窓口も整備してほしい ・新庁舎の場所や機能も、市民の声を丁寧に聞いて検討してもらいたい